

令和6年度進行管理・評価シート
松江市歴史的風致維持向上計画（令和2年3月31日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み 1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 松江市景観計画重点区域の新たな指定に向けた取り組み 2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡松江城石垣修理事業 3
2 国宝松江城天守防災施設等整備事業 4
3 松江城調査研究事業 5
4 堀川沿線「八百八橋づくり」推進事業 6
5 史跡松江藩主松平家墓所整備事業 7
6 歴史的建造物保全継承事業 8
7 カラコロ工房整備事業 9
8 重要文化財木幡家住宅主屋ほか10棟保存修理事業 10
9 伝統的建造物群保存地区検討事業 11
10 重要文化財木造薬師如来坐像ほか4躯保存活用施設整備事業 12
11 重要文化財木幡家住宅防災施設整備事業 13
12 史跡松江城整備基本計画策定事業 14
13 伝統美観保存区域等修景事業費補助金 15
14 歴史・文化のまちあるき案内板設置事業 16
15 松江城授業プロジェクト 17
16 松江市ふるさと文庫等製作事業 18
17 出前講座「松江藩ちやのゆの学校」 19
18 佐陀神能用具等修理・新調事業 20
19 松江の文化力体験推進事業 21
20 地域に根づく伝統文化継承事業 22
21 蒼柴垣神事民俗文化財調査事業 23
22 松江・歴史文化まちづくり推進事業 24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存、修理、防災について 25
2 文化財の活用、普及、啓発について 26
3 伝統行事等の伝統文化の継承 27
4 松江歴史館における企画展、各種催しもの等による普及事業 28
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 歴史まちづくりに関する報道 29
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 計画に位置付けた事業の完了 30
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 31

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	計画策定後の推進体制は、文化財課が中心となり、関連部局とも緊密な連携調整を行って適正な事業の実施を進めるとともに、毎年「松江市歴史まちづくり推進協議会」の確認を受ける。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画の推進について、客観的な評価や意見を受けるため、有識者や市民等で組織した「松江市歴史まちづくり推進協議会」を1回開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	掲載事業に限らず協議会からの意見を踏まえ庁内の連携を図って計画を推進することが必要である。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">松江市歴史まちづくり推進協議会</div>			
<p>令和6年度 第1回 (令和7年2月5日開催)</p> <p>令和6年度進行管理・評価シート(案)、中間評価(案)、令和6年度計画変更(案)等について提案し、承認を受けた。</p> <p>【参加者】松江市歴史まちづくり推進協議会委員10名 事務局(文化スポーツ部長、文化財課、埋蔵文化財調査課、松江城・史料調査課、松江歴史館、文化振興課、建築審査課、学校教育課、商工企画課、道路課)</p> <p>【議事】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [議題] 令和6年度進行管理・評価シート(案)について ② [議題] 中間評価(案)について ③ [議題] 令和6年度計画変更(案)について 			
			

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
松江市景観計画重点区域の新たな指定に向けた取り組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
松江市景観計画では、多様な地域景観に対応したきめ細やかな景観形成を図るために、住民の合意形成による個別の景観計画の策定(景観計画重点区域の指定)、拡充を推進していく。
屋外広告物条例との連携は、屋外広告物禁止地域や景観保全型広告整備区域等を活用しながら、歴史的なまちなみや景観の整備を進めることで、歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

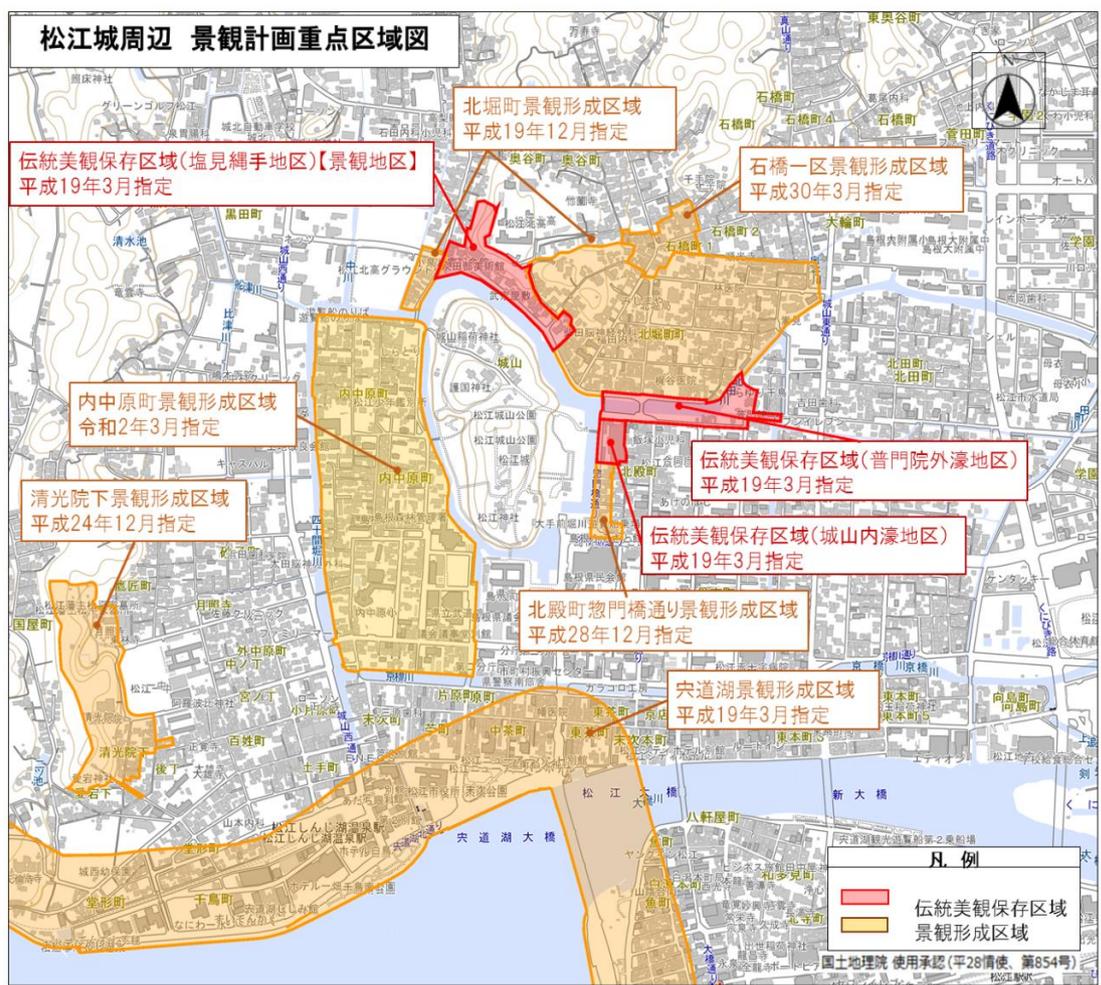
平成19年3月に策定した「松江市景観計画」により良好な景観の創出を図っており、全国に誇るかけがえのない歴史的景観を保存・継承していくため、松江城周辺を中心に住民と共創して景観計画重点区域の指定に向けた取り組みを行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

新たな景観計画重点区域の指定に際しては、区域住民の良好な景観形成に対する意識の高揚と十分な議論が必要である。住民の意向を尊重しながら意識の醸成を図り、合意形成が得られた区域から順次、景観計画重点区域の指定を進めていく。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度														
項目		現在の状況															
史跡松江城石垣修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手															
事業期間	平成13年度～令和11年度																
支援事業名	歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業費補助金(文化庁補助事業)																
計画に記載している内容	<p>史跡松江城は、城下町松江の歴史的風致を形成する最も重要な要素の一つであるが、その石垣については、変形や崩落等により、近世期の風貌を失ってしまうことがある。よって、このような石垣を江戸時代の工法で修復し、近世期における城下町の景観を良好な形に蘇らせ、松江の歴史的な町並みや風情を一層高めていくものである。</p>																
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																	
<p>文化庁の指導により、工事は一旦中断し、令和6年度から『史跡松江城整備基本計画』の策定に着手している。この計画の中で石垣修理事業の年次計画を策定する。令和7年度末までに計画を策定し、令和8年度以降、この計画に基づいて修理事業を進めていく。</p>																	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>石垣修理の年次計画策定に当たっては、石垣の崩落危険度のみならず、江戸時代からの石垣をいかに保存していくかなど多角的な視点から修理範囲、工法、優先順位を決める必要がある。今後、史跡松江城整備検討委員会や史跡松江城整備基本計画策定委員会の意見を参考に計画を策定する。</p>																
状況を示す写真や資料等																	
史跡松江城 石垣保存修理工事 年次計画表(令和7年3月末時点)																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年度</th> <th>計画内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>『史跡松江城整備基本計画』作成</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>『史跡松江城整備基本計画』作成</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>『史跡松江城整備基本計画』作成後に基本設計作成</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>未定</td> </tr> </tbody> </table>				年度	計画内容	令和6年度	『史跡松江城整備基本計画』作成	令和7年度	『史跡松江城整備基本計画』作成	令和8年度	『史跡松江城整備基本計画』作成後に基本設計作成	令和9年度	未定	令和10年度	未定	令和11年度	未定
年度	計画内容																
令和6年度	『史跡松江城整備基本計画』作成																
令和7年度	『史跡松江城整備基本計画』作成																
令和8年度	『史跡松江城整備基本計画』作成後に基本設計作成																
令和9年度	未定																
令和10年度	未定																
令和11年度	未定																

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
国宝松江城天守防災施設等整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和6年度

支援事業名 国宝重要文化財等防災施設整備費補助金(文化庁補助事業)(令和4年度～令和6年度)

計画に記載している内容
 ノートルダム大聖堂や首里城跡の火災の発生状況を鑑み、国宝松江城天守の防火に係るソフト・ハード対策を抜本的に見直す。文化庁や有識者の指導のもと、基本計画を策定し、本丸及び天守内部の防災施設を更新し、消防計画を見直すことで、火災による消失の危機回避と登閣者の安全確保を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

総合的な防火対策を検討し、計画的な防災施設等の整備を実施するため、防災及び文化財の有識者で組織した「国宝松江城天守防災施設等整備検討委員会」を令和6年度は2回開催し、工事の進捗状況や内容の詳細について有識者からの指導を受けた。
 令和6年度は、屋内消火設備(スプリンクラー、屋内消火栓)、火災通報装置、垂直降下式救助袋、防煙垂れ壁の設置などを実施し、全事業を完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
	更新した消火設備が有効に活用できるように、操作方法の周知や防火訓練を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等



第11回 国宝松江城天守防災施設等整備検討委員会(R7.2.12開催)



屋外放水銃放水試験



屋外放水銃



ポンプ室付消火水槽



スプリンクラー設置状況



屋内消火栓



垂直降下式救助袋展開状況



防犯カメラ、火災感知器



監視ディスプレイ

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

松江城調査研究事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

事業期間 平成21年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国宝松江城天守だけでなく、城郭、城下町全体について調査研究を行い、その学術的価値の向上に努める。最新かつ正確な研究成果を広く市民に対して発信していく。これらの事業を通して、松江城に代表される地域の歴史遺産に対する愛着や誇り、地域の歴史・文化を次世代に継承する意識が醸成され、歴史的風致の維持及び向上に寄与するものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・調査研究事業
 - 令和6年5月28日：松江城下町調査、意見交換会
 - 令和6年6月30日：第20回松江城調査研究委員会開催、個別の調査研究は断続的に実施
 - 令和6年6月28～7月1日：島根県内城下町調査
 - 令和6年8月22日：松江城出土棟瓦(鯨瓦・家紋鬼瓦)現物確認調査
 - 令和6年11月13日：「松江城と末次城」検討会
 - 令和6年12月6～8日：松江城天守台石垣及び富田城・米子城石垣調査
- ・世界遺産登録推進事業
 - 近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会での共同研究を断続的に実施
- ・情報発信事業
 - 令和6年12月：『松江城ブックレット8』発刊
 - 令和7年3月：『松江城研究6』発刊

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 今後も継続的に調査研究を実施し、歴史・文化を生かしたまちづくりのけん引役として、その成果を市民への発信はもとより、行政各種施策にも反映していく。

状況を示す写真や資料等

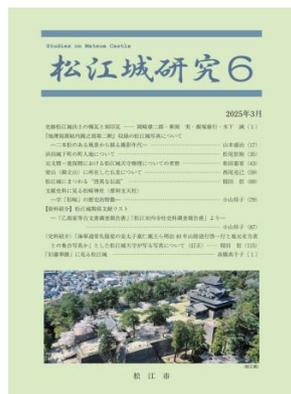
第20回 松江城調査研究委員会



松江城天守台石垣調査



松江城研究6・松江城ブックレット8



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
堀川沿線「八百八橋づくり」推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業、防災・安全交付金(道路事業)、道路メンテナンス事業、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
堀川に架かる橋りょう(特に遊覧船ルート沿線)を、近世城下町の風情を感じさせるデザインに整備し、橋の往来や堀川遊覧船から見る景色をより風情のあるものに充実させていく。内堀に架かる北惣門橋や千鳥橋は江戸期の絵図などを基に整備されている。そうした考え方を基本線として、協議会等で整備方針を確認しながら実施していく。これによって、近世城下町の時代から続く「松江の堀川」の景観・空間をさらに良好なものに高め、堀川における歴史的風致を向上させていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

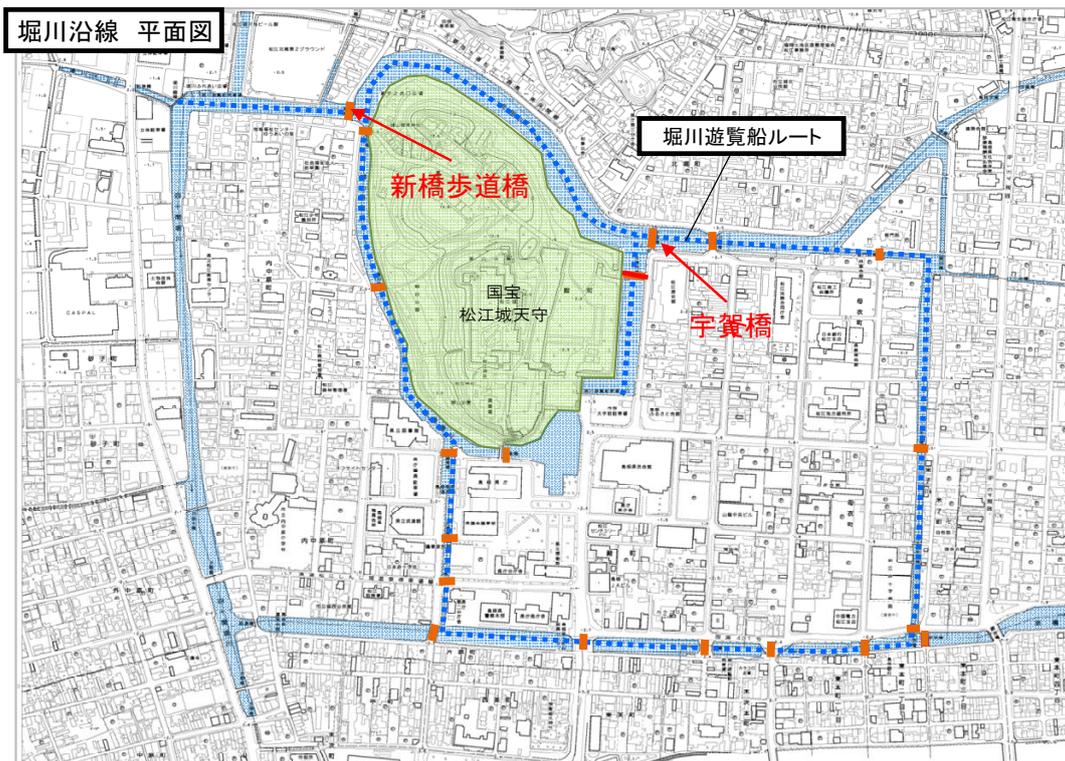
【新橋歩道橋・宇賀橋】

- ・高欄等の老朽化に伴い、令和4～5年度にかけて修繕調査設計を行った。
- ・新橋歩道橋については、令和6～7年度にかけて改修工事を実施中(市単独事業)。
- ・宇賀橋については、令和7～8年度にかけて改修を行う予定(道路メンテナンス事業)。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない
堀川周辺では景観形成上重要な橋梁とその整備方針を定め、架橋されている地域や歴史性にふさわしい架け替えや修繕を実施することで、城下町の景観を守り、住む人や訪れる人により親しんでもらえる橋づくりを目指す。

状況を示す写真や資料等



【新橋歩道橋・宇賀橋 改修工事】

新橋歩道橋は鋼橋、宇賀橋はコンクリート橋であるが、ともに高欄や桁隠しが木で装飾されている。この木部材が経年劣化により腐食しているため、基本的に原型復旧で改修工事を行うものである。



新橋歩道橋 事業着手前

評価軸⑤-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
史跡松江藩主松平家墓所整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和11年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文化庁補助事業)		
計画に記載している内容	松江藩主松平墓所は、もとは洞雲寺と称する禅林であったが、寛文年間に初代直政の生母月照院の霊碑を安置し月照寺と改称した。二代綱隆は直政の遺命により廟所境内に宮み、月照寺を歴代藩主の菩提寺とした。月照寺には初代直政から九代齊貫までの9つの廟墓が造営されており、近代大名の墓所の葬制を知るうえできわめて貴重な遺構であるとして、平成8年に国の史跡に指定されている。 しかし、建造物等の老朽化、排水施設の機能不全、倒木や巨木化した樹木の根による廟所の毀損など多くの課題を抱えているため、整備基本計画を策定し、計画的に整備を行うものである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・史跡北側廟所地区の参道修復工事を実施。(2ヵ年計画の2年目。計画期間累計工事面積285.9㎡) ・初代廟門土塀保存修理工事を実施。(令和5年度からの繰越事業) ・初代廟所水路修復改良工事を実施。(令和6年度) ・五代廟所南側・七代廟所北側の危険木伐採工事を実施。(令和6年度) ・御霊屋南側の支障木伐採工事を実施。(令和6～7年度)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		長期に亘る整備事業であるため、国庫補助等の活用、史跡所有者との連携を図り、計画的に実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
【参道修復工事(北側廟所地区)】 石敷の破損や消失がみられる参道の修復工事を行った。 樹根の伸長により石敷を浮きあげている部分は、伐根し、石敷を据え付けた。 (実施前)		【危険木伐採工事(五代廟所南側・七代廟所北側)】 灯籠等の倒壊要因となる危険木の伐採工事を行った。 (実施後)	
	→		
【初代廟門土塀保存修理工事】 平成29年度に倒壊した初代廟門の南側土塀及び倒壊の恐れがある北側土塀について保存修理工事を実施した。 (実施前)		(実施中)	
	→		
【水路修復改良工事(初代廟所)】 令和5年度に行った実施設計に基づき、初代廟所の排水機能を高めるための水路修復改良工事を実施した。 (実施前)		【支障木伐採工事(御霊屋南側)】 令和5年度に行った実施設計に基づき、御霊屋南側部分の支障木伐採工事を実施している。 (実施中)	
	→		

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
歴史的建造物保全継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松江の歴史的なまちなみを構成する歴史的建造物(指定文化財以外のもの)について、所有者との協働によって適切に保全継承するとともに、それを核として歴史的なまちなみの面的な再生に繋げてゆくことで、松江らしい歴史的風致を将来にわたって維持継承し観光振興やまちなかの活性化へと繋げていくものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・有識者6人で組織した「歴史的建造物保全活用審議会」を開催した。3件の建造物を「松江市登録歴史的建造物」として登録した。
- ・松江市登録歴史的建造物の保全に対し、1件の助成を行った。
- ・美保関地区にて、美保関伝統的建造物群保存対策調査(令和4～5年実施)の内容をわかりやすく学ぶ勉強会「美保関まちなみ塾」を開催し、登録歴史的建造物第6号「濱延舎」の内部見学を実施した。(令和6年7月21日:参加者数58人)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在、美保関地区は令和8年度に重要伝統的建造物群保存地区に選定されるよう検討している。美保関エリアの歴史的建造物に登録した物件は、重伝建地区内における伝統的建造物となり、より補助率の高い伝建補助制度が使えるようになる。そのため、美保関エリアにおける歴史的建造物保全継承事業と伝建制度の補助金を整理する必要がある。

状況を示す写真や資料等

松江市登録歴史的建造物 登録実績



登録第19号 美保館別邸 月那離宮
(旧定秀家)
登録年月日:令和7年1月



登録第20号 美保館別邸 柘榴
(旧木谷邸)
登録年月日:令和7年1月



登録第21号 パンچهブル
(旧桑原商店)
登録年月日:令和7年1月

美保関まちなみ塾(濱延舎の内部見学)

令和6年度
美保関まちなみ塾

5月12日(日)
14:00-16:00
第1回 美保関の歴史
14:00-16:00

6月9日(日)
14:00-16:00
第2回 美保関の歴史と
14:00-16:00

7月21日(日)
14:00-16:00
第3回 美保関の歴史と
14:00-16:00

会場 美保関文化交流館3階(美保関町南原6-1)
お申し込み 美保関FAMよりお申し込みください。詳しくは連絡先をご覧ください。

美保関まちなみ塾チラシ

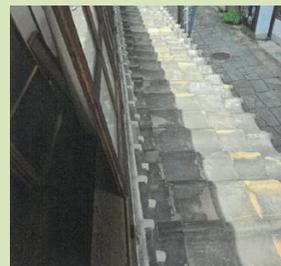


美保関まちなみ塾の様子



松江市登録歴史的建造物 助成実績

【保全工事内容】
登録第4号 三大家住宅主屋
玄関上屋根修繕工事



屋根 修理後

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

カラコロ工房整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------	---

事業期間	令和2年度～令和6年度
------	-------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金(地域防災拠点整備緊急促進事業)(令和2年度)、市単独事業(令和3年度～令和4年度) デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)(令和5年度～令和6年度)
-------	---

計画に記載している内容	カラコロ工房は、昭和13(1924)年に「日本銀行松江支店」として建てられたものに改築・増築を施し平成12(2000)年に開館。その後多くの観光客が訪れるスポットとなった。また、まち歩き的重要な拠点としての役割を担っている施設である。 本事業の実施により、利用者の安全確保を図ることが出来るとともに、カラコロ工房新活用基本構想に基づく施設のリニューアルを図ることで、施設の魅力化による集客力の向上を図ることが出来る。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・令和5年度に続いてカラコロ工房を休館し、実施設計に基づき外部および内部改修工事を行い、令和6年9月に竣工した。
- ・令和6年10月2日の飲食部分の先行オープン後、10月12日に本館2、3階部分をオープンし、オープンセレモニーを行った。
- ・令和6年11月2日には、本館地下をオープンし、施設全体がリニューアルオープンを果たした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	まちづくりの拠点施設としての魅力を高め、さらなる集客に向けて取り組んでいく。
--	--

状況を示す写真や資料等

令和6年度 カラコロ工房 外部および内部改修工事の様子



カラコロ工房(外観)



テラス回廊



地下

リニューアル後のカラコロ工房

【コンセプト】

水の都・松江の「豊かな日常」を体感する場所へ

【活用ポイント】

本館1階「マルシェ」

松江産品専門店として生鮮食品の取り扱いや実演販売コーナーも備えた飲食・物販エリア



マルシェ

本館2階・3階「ものづくり体験」

お茶、和菓子、陶芸、墨絵、水引などの伝統文化を体験型アクティビティとして楽しめるフロア



茶室

テナント棟「フードホール」

山陰の食材を生かした様々なジャンルの飲食店舗が集い、夜まで賑わうフードホール



FOODHALL テラス

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
		項目	現在の状況
			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

重要文化財木幡家住宅主屋ほか10棟保存修理事業

事業期間 令和4年度～令和11年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容
 宍道は古代から交通の要衝地であり、近世には山陰道と雲南・山陽方面へ向かう道との結節点として、また松江藩主の立ち寄る本陣宿を持つ宿場町として発展した。その本陣宿の一軒が木幡家で、主屋、新座敷棟、飛雲閣、新奥座敷棟、奥座敷棟、新蔵、米蔵、三階蔵が重要文化財に指定され、湯殿、御成門、行啓門、資材蔵、裏門、宅地が附指定となっている。
 近年、指定建造物の経年劣化の進行が顕著となっており、屋根瓦の不陸、葺乱れ、外壁の漆喰剥離等がみられるため、維持保全を図り、1期事業(新蔵、米蔵、三階蔵の保存修理と資材蔵の解体)に引き続いて、2期事業として主屋ほか10棟(主屋、新座敷棟、飛雲閣、新奥座敷棟、奥座敷棟、附・湯殿、附・御成門、附・行啓門、附・裏門、附・資材蔵、宅地 塀)の保存修理工事を行うものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

工程に沿って順次工事を進めており、令和5年度から引き続き、主屋の解体を進めた。
 令和6年11月9日に、修理現場の一般公開で木幡家住宅の文化財的価値や修理工事の説明および鉋がけ体験を実施し、100名が参加され、参加者は興味や関心を持って説明を聞き、積極的に体験を行っている様子であった。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

防災、活用についても検討しながら、事業を進めていくため、関係者間で共通の認識を持って、円滑に事業進捗できるよう、所有者、関係業者等とのコミュニケーションを密に取る必要がある。

状況を示す写真や資料等

○主な事業対象建造物



主屋(修理前)



主屋(解体中)

○修理現場の一般公開の様子



修理工事の説明



鉋がけ体験(参加者全員が体験)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
伝統的建造物群保存地区検討事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和11年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文化庁補助事業)(令和4年度～令和5年度)、市単独事業(令和6年度～)

計画に記載している内容 美保関地区の歴史や町並み、景観構造や民俗信仰について、建造物・地割・自然環境・生業等の複合的な観点から調査を行い、伝統的建造物群としての価値の実態解明と文化財としての位置づけを明らかにし、歴史資源を活かしたまちづくりに寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①伝統的建造物の所有者説明・住民説明会
 - ・所有者個別訪問(127棟分の所有者)、住民説明会(2回・計57名の参加)
- ②まちづくり支援
 - ・先進地視察4地区(岡山県津山市、広島県呉市、竹原市、津和野町)
 - ・勉強会「美保関まちなみ塾」の開催(全3回・計156名の参加)
 - ・「美保関まちなみ研究会」(4回)
- ③行政手続きほか
 - ・「松江市伝統的建造物群保存地区保存条例」の制定(12月)
 - ・職員研修(2回)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

重伝建地区では住民の権利制限が生じるため、住民の主体的参画と理解が必要である。調査により明らかとなった美保関の文化財的価値を住民に丁寧に説明し、理解と協力を求める。また、住民とともに保存活用計画を策定し、地区の将来像を共有することで行政と地区住民が協働で行えるまちづくりの体制を構築する。

状況を示す写真や資料等

先進地視察



先進地視察 岡山県津山市(R6.6.6)

先進地視察 呉市・竹原市(R6.9.4～5)

美保関まちなみ塾



美保関まちなみ塾 第1回(R6.5.12)

美保関まちなみ塾 第3回(R6.7.21)

住民説明会の様子



美保小路、月名小路住民説明会(R6.11.8)

中浦小路住民説明会(R6.11.11)

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度		
項目		現在の状況			
重要文化財木造薬師如来坐像ほか4軀保存活用施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手			
事業期間	令和5年度～令和6年度				
支援事業名	国宝重要文化財等防災施設整備事業費補助金				
計画に記載している内容	<p>佛谷寺は美保関の青石畳通りを突き当たる場所にある浄土宗の古刹である。中世に美保関は隠岐へ向かう海運の拠点でもあり、佛谷寺は後鳥羽上皇と後醍醐天皇が隠岐へ流される際に風待ちに使われたと伝えられ、美保関が隠岐への海路の拠点である歴史を示す重要な寺院である。安置されている仏像5軀はいずれも平安初期の一木造で、国の重要文化財に指定されている。</p> <p>令和5年度、令和6年度に仏像5軀を収蔵する施設を修理、整備事業を行い、重要文化財としての価値を後世に残していくことで、佛谷寺の維持発展にもつなげていく。</p>				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で					
<p>令和6年5～6月に木造薬師如来坐像ほか4軀を移動し、宝物殿内の須弥壇下に免震装置を設置した。また、同時期に競争見積方式による入札にて業者と契約、照明LED化改修を行った。</p> <p>令和6年8月に同方式により入札、業者と契約し、外部階段タイル貼替え工事を実施した。</p> <p>令和7年1月に温湿度記録装置(データロガー)の購入・設置を行った。</p>					
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も引き続き、所有者や関係機関と連携を密に図り、計画的に保全を進めていく。				
状況を示す写真や資料等					
					
着手前(タイル貼替え)				竣工(タイル貼替え)	
					
着手前(免震装置設置)				竣工(免震装置設置)	

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
		項目	現在の状況
		重要文化財木幡家住宅防災施設整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和6年度～令和11年度

支援事業名 重要文化財等防災施設整備事業(文化庁補助事業)

計画に記載している内容
 宍道は古代から交通の要衝地であり、近世には山陰道と雲南・山陽方面へ向かう道との結節点として、また松江藩主の立ち寄る本陣宿を持つ宿場町として発展した。その本陣宿の一軒が木幡家で、主屋、新座敷棟、飛雲閣、新奥座敷棟、奥座敷棟、新蔵、米蔵、三階蔵が重要文化財に指定され、湯殿、御成門、行啓門、資材蔵、裏門、宅地が附指定となっている。現在実施している主屋ほか10棟(主屋、新座敷棟、飛雲閣、新奥座敷棟、奥座敷棟、附・湯殿、附・御成門、附・行啓門、附・裏門、附・資材蔵、宅地 塀)の保存修理事業にあわせて防災施設整備を行うものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和6年度は、防災の基本計画を作成した。
 ・令和7年度は、主屋、湯殿の防災設備実施設計を行う予定。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

設備の設置が防火対策としてより有効的なものとなるよう、所有者、関係業者とコミュニケーションを密に取りながら事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等

○主な事業対象建造物

主屋



新座敷



附・湯殿



飛雲閣



新奥座敷



奥座敷



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
史跡松江城整備基本計画策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和6年度～令和7年度

支援事業名 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 平成28年度に策定した「史跡松江城保存活用計画」をもとに、松江城の総合的・計画的な環境整備を進めるため、令和6～7年度にかけて、史跡全体(園路整備、石垣修理、サイン整備、樹木管理等)の整備基本計画を策定する。策定にあたっては、文化庁による指導体制を構築し、有識者からなる委員会において検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡松江城の総合的・計画的な整備方針を検討するため、建築史、城郭、考古、近世史、景観、城石垣、植生における有識者で組織した「史跡松江城整備基本計画策定委員会」を令和6年度は2回開催し、第1回委員会にて現地視察をしたうえで、計画策定の経緯と目的の整理、目次構成、史跡松江城の本質的価値の検討について、有識者からの指導を受けた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

- ・史跡整備から30年近く経過し、園路舗装が老朽化しているため、再整備について検討する。
- ・石垣の孕み出しが多く見られるため、計画的な修理について検討する。
- ・サインの老朽化や不揃いについて、統一感と動線について考慮した上で再整備を検討する。
- ・倒木や落枝による被害が懸念されることから、樹木の適切な管理について検討する。

状況を示す写真や資料等



第1回史跡松江城整備基本計画策定委員会



石垣の孕み出し



サインの老朽化、不揃い



園路の老朽化



倒木状況

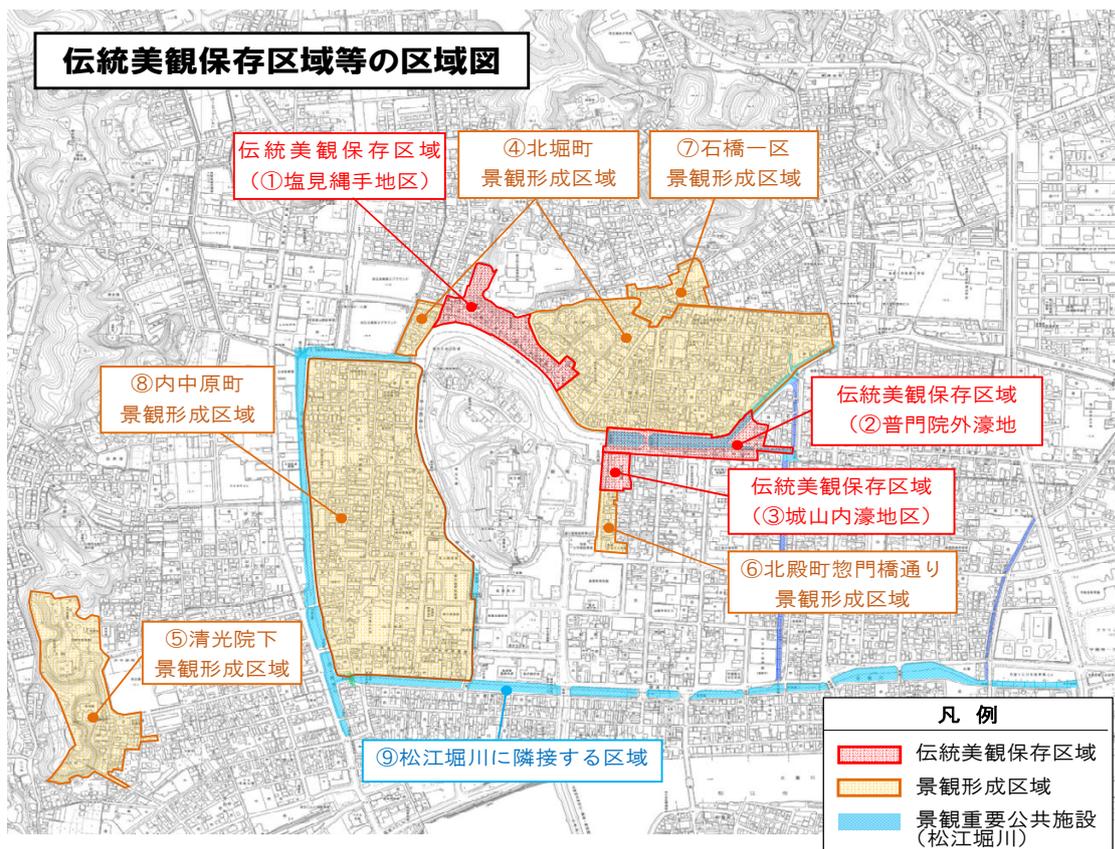


石垣支障木

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
伝統美観保存区域等修景事業費補助金			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 昭和48年度～令和11年度			
支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)			
計画に記載している内容	「伝統美観保存区域等修景事業費補助金」は松江市の景観計画に定める伝統美観保存区域および北堀町景観形成区域等において、市民共有の財産である松江市固有の伝統美観を保全し、城下町風情等の歴史的風致の維持向上を目的とした市民の修景行為に対して行政が支援する取り組みである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和6年度に関しては建築物、工作物とも修景行為に対しての支援は無し。 (塩見縄手地区において建築物の修景行為に対し支援を行う予定であったが、補助要綱に適合せず支援を行えなかった。)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本補助金の活用による修景事業を促すために制度周知を徹底することと、住民からの申請に対し基準適合や事業スケジュールなど円滑に実施されるよう対応していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



補助対象基準

城下町の風情や歴史的風情に配慮した修景行為

- (1) 建築物
 - ・屋根: 和瓦(黒瓦、いぶし瓦など)
和瓦に準じた色彩の屋根葺
 - ・壁: 自然素材を用いた外壁
(白漆喰壁、土壁、板壁など)
 - ・建具: 格子を用いた木製建具の設置など
- (2) 工作物(門、塀、生垣等)及び建築設備

補助率と上限

- (1) 建築物
 - 事業費の3分の2以内で上限300万円
 - ※塩見縄手は10分の7以内で上限600万円
- (2) 工作物
 - 事業費の3分の2以内で上限200万円
 - ※塩見縄手は10分の7以内で上限200万円

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

歴史・文化のまちあるき案内板設置事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成21年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松江の歴史的建造物やまちなみなどの要素を活かしながら「まち歩き観光」を推進していくために、各地区で作成されるまち歩きルート(歴史・文化的資源が基礎)の説明板や、歴史的意義のある地名・町(丁)名の由来などの案内板を設置する。これによって、観光客や市民がテーマ性のある魅力的なまち歩きを楽しめるようになり、松江の歴史的な風情や空間をより深く感じることができるようになる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史・文化のまちあるき案内板設置
令和6年度は、未設置地区からの要望がなかったため、事業実績なし。
令和6年度までの設置済地区: 25地区/29地区(86%設置)
- ・歴史のまち歩き
令和6年度実績: 5地区で開催、参加者合計103名

進捗状況 ※計画年次との対応

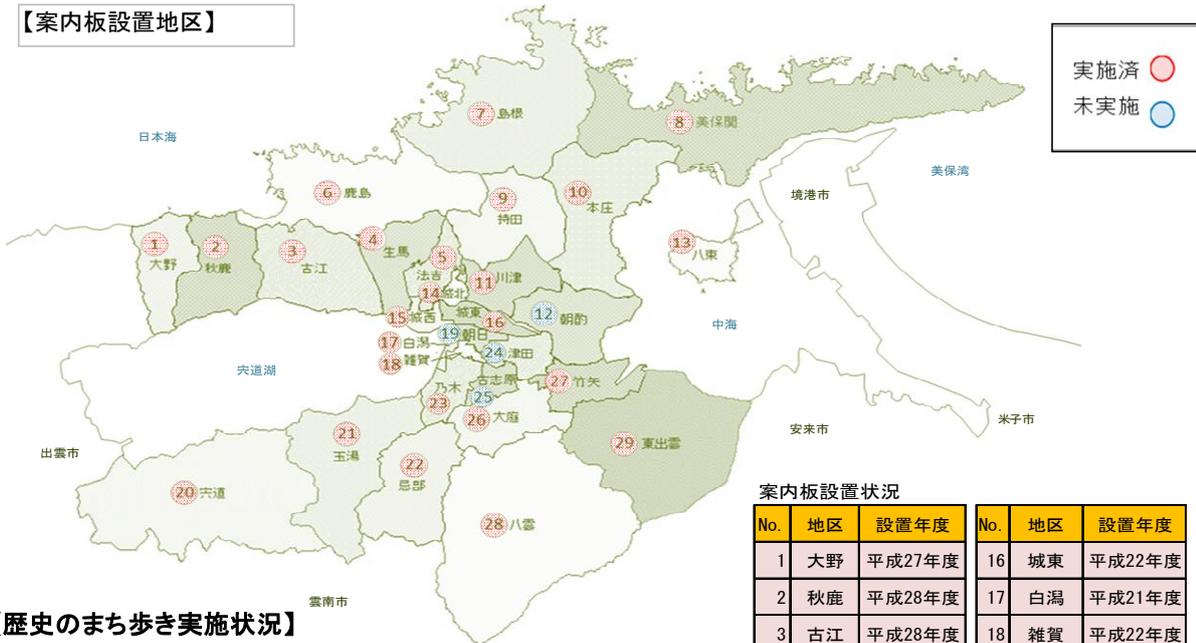
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

歴史的資源を活用したまちづくりに対する住民意識の向上を図る必要がある。また、案内板の内容が古くなっているところもあるので、最新のものに更新していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【案内板設置地区】



案内板設置状況

No.	地区	設置年度	No.	地区	設置年度
1	大野	平成27年度	16	城東	平成22年度
2	秋鹿	平成28年度	17	白潟	平成21年度
3	古江	平成28年度	18	雑賀	平成22年度
4	生馬	令和3年度	19	朝日	未実施
5	法吉	平成25年度	20	宍道	平成30年度
6	鹿島	平成24年度	21	玉湯	平成28年度
7	島根	平成25年度	22	忌部	令和4年度
8	美保関	平成24年度	23	乃木	平成26年度
9	持田	平成29年度	24	津田	未実施
10	本庄	平成29年度	25	古志原	未実施
11	川津	平成27年度	26	大庭	平成28年度
12	朝酌	未実施	27	竹矢	令和3年度
13	八東	平成25年度	28	八雲	平成26年度
14	城北	平成22年度	29	東出雲	平成26年度
15	城西	平成22年度			

実施済: 25地区 / 未実施: 4地区

【歴史のまち歩き実施状況】

地区	開催日時	参加者数
八東	令和6年4月27日(土) 午前	14名
大庭	令和6年6月1日(土) 午前(2グループ)	37名
東出雲	令和6年6月15日(土) 午後	20名
玉湯	令和6年10月5日(土) 午後	21名
竹矢	令和6年10月26日(土) 午前(10/19中止)	11名
合計		103名



**評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
松江城授業プロジェクト		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	松江城、松江歴史館などの見学を通じて、国宝松江城天守の歴史的価値や城下町の特徴等を理解し、学習意欲が高まることにより、地域に対する愛着や誇り、地域の歴史・文化を次世代に継承する意識が醸成され、歴史的風致の維持及び向上に寄与するものである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・松江市内の34校の小学校・義務教育学校の6年生を対象に、松江城授業プロジェクトを実施。 【松江城授業プロジェクト実施小学校及び対象児童数】 ・令和6年度実績:34校(対象:松江市立小学校・義務教育学校34校)の小学6年生 1,662人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も引き続き、見学の様子や児童が記述した感想等から理解度の検証等を行い、次の学習につながるよう努める。		
状況を示す写真や資料等			



【松江城見学】築城の歴史を学芸員から聞く



【松江歴史館見学】国宝となった祈禱札について学ぶ

評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
松江市ふるさと文庫等製作事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松江の歴史・文化をわかりやすく紹介する取り組みとして、平成17年度(2005)から「松江市ふるさと文庫」「松江市歴史史料集」「松江市歴史叢書(市史研究)」を刊行している。この松江市ふるさと文庫等を活用した市民の地域学習が展開されることで、松江の歴史に対する理解と認識が一段深まり、松江の歴史的風致の維持及び向上の機運を醸成させるものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・松江市ふるさと文庫 累計37冊(令和6年度:2冊刊行)
- ・松江市歴史史料集 累計13冊(令和6年度:1冊刊行)
- ・松江市歴史叢書 累計18冊(令和6年度:1冊刊行)
- ・松江市史編集のあゆみ 累計1冊
- ・松江市史総索引・総目次 累計1冊
- ・絵図パンフレット 累計1冊
- ・松平治郷関係書籍 累計3冊

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

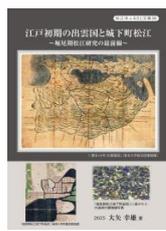
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 多くの人々に読んでもらうため、販売を促進する必要があり、販売部数を伸ばすためのPRは欠かせない。

状況を示す写真や資料等

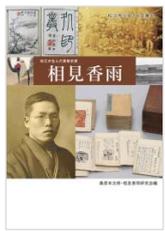
令和6年度末までに松江市から発刊された書籍

種別	No.	タイトル	著者・編集	発行年度
ふるさと文庫	1	お殿様の御成り	小林准士	平成17年度
	2	大根島のおいたちと洞窟生物	澤田順弘ほか2名	平成18年度
	3	松江藩の財政危機を救え	乾隆明	平成19年度
	4	堀尾吉晴と忠氏	佐々木倫朗	平成19年度
	5	城下町松江の誕生と町のしくみ	松尾寿	平成20年度
	6	堀尾吉晴—松江城への道	山根正明	平成20年度
	7	松江市の指定文化財	編集委員会	平成21年度
	8	京極忠高の出雲国・松江	西島太郎	平成21年度
	9	松江城下に生きる	松原祥子	平成21年度
	10	松江市史への序章	編集委員会	平成21年度
	11	松江藩校の変遷と役割	梶谷光弘	平成22年度
	12	決定版 見立番付を楽しむ	乾隆明ほか1名	平成22年度
	13	雲陽秘事記と松江藩の人々	田中則雄	平成22年度
	14	松江掃苔録	青山侑市	平成23年度
	15	中世水運と松江	長谷川博史	平成24年度
	16	松江城再発見	西和夫	平成26年度
	17	松江の碑—碑が語る松江の歴史—	安部登	平成27年度
	18	古墳時代史にみる古代出雲成立の起源	池淵俊一	平成28年度
	19	石垣と瓦から読み解く松江城	乗岡実	平成28年度
	20	松平不昧の茶室	和田嘉宥	平成29年度
	21	郷土のエンサイクロペディア 桑原羊次郎	桑原羊次郎・相見春雨研究会	平成30年度
	22	出雲にきた渤海人	大日方克己	平成30年度
	23	石が語る松江城の物語	澤田順弘	平成30年度
	24	西洋医学受容から衛生思想普及までの道のり	田野俊平・梶谷光弘	令和元年度
	25	松江藩主松平墓所	全国大名墓研究会	令和元年度
	26	中世の松江を探る—荘園のしくみとくらし	西田友広	令和2年度
	27	田和山遺跡が語る出雲の弥生社会	松本岩雄	令和2年度
	28	国令—松江藩の法令と人々の暮らし—	松江市歴史まちづくり部史料調査課	令和2年度
	29	室町時代の出雲国と京極氏	川岡勉	令和3年度
	30	ふるさとの野鳥に親しもう—松江市持田・本庄地区の野鳥たち—	佐藤仁志	令和3年度
	31	松平治郷(不昧)の治世—御立派改革後の松江藩政と藩政社会—	小林准士	令和4年度
	32	松江の仙像 その時代とかたち	的野克之	令和4年度
	33	松江史を語る②「藩政地誌」を読む—明治の松江、まち・ひと・くらし	松江市文化スポーツ部松江城・史料調査課	令和4年度
	34	古代国家の形成と出雲國の誕生—大玉権の確立と郡民制の進展	吉松大志	令和5年度
	35	旅するしまねの学生たち—修学旅行が語る近代の旅—	面坪紀久	令和5年度
	36	江戸初期の出雲国と城下町松江—最新の研究成果を受けて—	大矢幸雄	令和6年度
	37	松江が生んだ美術史家 相見春雨	桑原羊次郎・相見春雨研究会	令和6年度

種別	No.	タイトル	著者・編集	発行年度	
歴史史料集	1-1	湯之助文書(上)	松本美和子ほか1名	平成19年度	
	1-2	湯之助文書(下)	松本美和子	平成19年度	
	2-1	大保恵日記I	史料編纂課	平成28年度	
	2-2	大保恵日記II	史料編纂課	平成29年度	
	2-3	大保恵日記III	史料編纂課	平成29年度	
	2-4	大保恵日記IV	史料編纂課	令和元年度	
	2-5	大保恵日記V	史料調査課	令和2年度	
	3	新番組列士録	史料編纂課	平成28年度	
	4	御産献立控帳	史料編纂課	令和元年度	
	5	松江藩松平家の給帳	松江城・史料調査課	令和4年度	
	6	駅々御本陣御取図	松江城・史料調査課	令和5年度	
	7	旅役諸御渡物書抜	松江城・史料調査課	令和5年度	
	8	御用頭書	松江城・史料調査課	令和6年度	
	歴史叢書	1	京都・妙心寺派春光院	佐々木倫朗ほか5名	平成19年度
		2	松江市史研究1号	井上寛司ほか13名	平成21年度
		3	松江市の近代化遺産	堀勇良ほか4名	平成21年度
		4	松江市史研究2号	原慶三ほか2名	平成22年度
		5	松江市史研究3号	三宅正浩ほか9名	平成23年度
6		松江市史研究4号	渡辺貞幸ほか7名	平成24年度	
7		松江市史研究5号	大矢幸雄ほか7名	平成25年度	
8		松江市史研究6号	大矢幸雄ほか13名	平成26年度	
9		松江市史研究7号	中井均ほか10名	平成27年度	
10		松江市史研究8号	和田嘉宥ほか7名	平成28年度	
11		松江市史研究9号	大矢幸雄ほか12名	平成29年度	
12		松江市史研究10号	和田嘉宥ほか8名	平成30年度	
13		松江市史研究11号	井上寛司ほか12名	令和元年度	
14		松江市史研究12号	井上寛司ほか14名	令和2年度	
15		松江市史研究13号	若槻真治ほか11名	令和3年度	
16		松江市史研究14号	大矢幸雄ほか13名	令和4年度	
17		松江市史研究15号	小林准士ほか13名	令和5年度	
18	松江市史研究16号	岸田徹ほか11名	令和6年度		
松江市史別冊	1	松江市史編集のあゆみ	史料調査課	令和2年度	
	2	松江市史総索引・総目次	史料調査課	令和2年度	
絵図パンフ	1	絵図で見る城下町松江	松江市教育委員会	平成16年度	
不昧公研究	1	不昧の手紙—大園公手翰を読む	松平治郷(不昧公)研究会	令和元年度	
	2	松平治郷(不昧公)関係史料集I	松平治郷(不昧公)研究会	令和3年度	
	3	松平治郷(不昧公)関係史料集II	松平治郷(不昧公)研究会	令和4年度	



松江市ふるさと文庫36
「江戸初期の出雲国と城下町松江
～堀尾期松江研究の最新線～」



松江市ふるさと文庫37
「松江が生んだ美術史家
相見春雨」



松江市歴史史料集8
「御用頭書」



松江市歴史叢書18
(松江市史研究16号)

評価軸③-17 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
出前講座「松江藩ちやのゆの学校」		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	茶道未経験者に対して気軽に茶の湯に触れる機会を提供することにより、茶の湯文化の継承・発展が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与するものである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和2年度、令和3年度：新型コロナウイルスの影響により未実施 ・令和4年度：計3回開催 (3団体(市内NPO法人及び自治会)、大人計16人、子ども計18人) ・令和5年度：計5回開催 (2団体(社会福祉法人及び自治会)、大人計55人、子ども計27人) ・令和6年度：計7回開催 (6団体(児童クラブ、民間企業など)+個人、大人計58人、子ども計51人)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	島根県茶道連盟と連携を取りながら実施する。		
状況を示す写真や資料等			
【チラシ】		【松江藩ちやのゆの学校写真】	
			
			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
佐陀神能用具等修理・新調事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和6年度		
支援事業名	民俗文化財調査事業(文化庁補助事業)、民俗文化財伝承・活用事業(文化庁補助事業)		
計画に記載している内容	「佐陀神能」で使用される用具(衣装・面・楽器等)の劣化が激しいため、修理・復元に向けた調査を行う。その調査結果をもとに用具を修理・新調することで、「佐陀神能」の価値をさらに高め、鹿島エリアの歴史的風致の維持向上につなげていくものである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・佐陀神能用具等修理・新調に向け、有識者を中心とした「佐陀神能民俗文化財調査委員会」を2回開催(令和2年度) ・令和元年度、2年度の調査成果に基づき、『佐陀神能民俗文化財調査報告書』を作成した。 ・調査報告書をもとに、令和3年度～令和6年度にかけて佐陀神能用具等の修理・新調を実施した。 【令和3年度】面3点・衣装29点・道具13点 計45点を復元新調。 【令和4年度】面6点・衣装39点・道具11点 計56点を復元新調。 【令和5年度】面3点・衣装41点・道具10点 計54点を復元新調。 【令和6年度】面3点を復元新調。(令和5年度からの繰越事業)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・民俗学の専門家の指導を受けながら、現在使用している用具、佐太神社の支配下にあった近隣の神社に残る用具などを参考に復元新調した。		

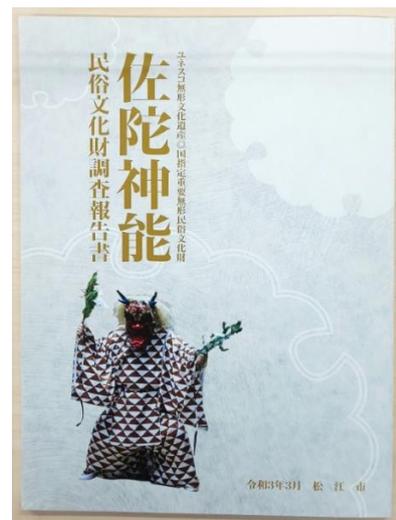
状況を示す写真や資料等



専門家現地指導の様子



令和6年度に復元新調した面(上:旧、下:新)
 左:玉鉾ノ臣 中:天照大神 右:素尊



調査報告書(R2年度作成)

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
松江の文化力体験推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和6年度
支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
松江市には、豊富に残る文化財や地域に受け継がれる伝統行事、暮らしに根づく茶の湯文化や人と自然が織りなす景観などがある。本事業では、市民、特に小学生とその保護者を対象に松江の伝統文化などを「体験する」「知る」機会を提供し、その魅力と価値を再認識するとともに、次世代への継承につなげ、松江市全体の歴史的風致の維持及び向上に寄与するものである

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内の小学生とその保護者を対象に、松江の伝統行事や茶の湯文化、景観などについて、その分野の講師の説明を通じ、体験しながら、学習する機会を創出した。計14講座、529名の参加をいただいた。
 ①「そば打ち体験&出雲弁で紙芝居」参加人数:29名 ②「はくちょう号から望む秋の夕陽と生演奏」参加人数:35名
 ③「親子でちぎり絵体験 幸せを運ぶふくろう」参加人数:23名 ④「親子で初めてのいけばな体験」参加人数:43名
 ⑤「親子で紙漉き体験 いろいろな形の和紙を作ろう」参加人数:31名 ⑥「親子で手持ち行燈づくり体験」参加人数:57名
 ⑦「親子で和菓子作り&スサノオマジック観戦」参加人数:24名 ⑧「片江の墨付けとんど祭り親子体験ツアー」参加人数:24名
 ⑨「親子で郷土菓子花もちづくり体験」参加人数:31名 ⑩「親子で伝統的料理ぼてぼて茶づくり体験」参加人数:20名
 ⑪「親子で楽しむ八雲塗絵付体験」参加人数:11名 ⑫「世界に一つ自分だけのシーグラス入り小鉢作り体験」参加人数:78名
 ⑬「親子で楽しくかわいい和菓子作り&お抹茶体験」参加人数:21名 ⑭「親子でワクワク弦楽器体験」参加人数:102名

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

子どもと保護者が体験を通して、松江の伝統文化などに触れることができた。

状況を示す写真や資料等



令和6年度募集チラシ(表面)



令和6年度募集チラシ(裏面)



①「そば打ち体験&出雲弁で紙芝居」



②「はくちょう号から望む秋の夕陽と生演奏」



③「親子でちぎり絵体験 幸せを運ぶふくろう」



④「親子で初めてのいけばな体験」



⑤「親子で紙漉き体験 いろいろな形の和紙を作ろう」



⑥「親子で手持ち行燈づくり体験」

評価軸③-20 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
地域に根づく伝統文化継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 松江市には、地域において、それぞれの歴史的背景を持ちながら長い年月の間守り伝えられてきた祭りや年中行事など、地域の伝統行事が数多く存在する。本事業では、行事等の開催を支援し、記録・保存を行うことにより、文化の継承・発展が図られ、市域全体の歴史的風致の維持向上に寄与するものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【申請状況】
 令和6年度は宍道太鼓振興会(宍道太鼓)から申請があり、補助を実施した。
 写真を残しておくことで、記録・保存が図られた。
 一方で、年間を通じて1件の申請であったため、周知強化が必要であるとする。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・補助金の活用数が少ない状況である。今後は市民周知を積極的に行い、活用団体数を増やしていく。

状況を示す写真や資料等

【補助事業の対象となる行事等の一例】



〈鑿行列〉



〈青柴垣神事〉



〈ホーランエンヤ〉

【記録保存の一例(宍道太鼓振興会)】



※本補助金を活用し、行事の準備から本番までの様子を写真で記録した。

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
蒼柴垣神事民俗文化財調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和6年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業(令和6年度)、民俗文化財調査事業(文化庁補助事業)(令和7年度～令和8年度)

計画に記載している内容 「蒼柴垣神事」や「諸手船神事」は、令和の時代に入り、過疎化や少子高齢化が一段と進み、また新型コロナの蔓延もあって、祭祀組織の維持や、これまでのような祭礼の運営が非常に厳しい状況となっている。このたびの調査は、この大きな転換期を迎えた祭祀組織や祭礼の運営について、現状の記録作成を行うとともに、過去に行われた調査や遺された古記録類を整理し、現時点での祭礼の変遷や特色・意義を明らかにする。そして、今回得られた成果は、地元と共有し、今後の継承活動の一助として活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【令和6年度】蒼柴垣神事等調査委員会の立ち上げ・開催、蒼柴垣神事調査、諸手船神事調査、史資料調査

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	限られた時間のなかで調査をおこなう必要があるため、蒼柴垣神事等調査委員会の意見や、文化庁及び島根県文化財課の指導、祭祀組織及び美保神社の協力を得ながら、計画的に進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



蒼柴垣神事(大柵)



蒼柴垣神事(御船)



諸手船神事



蒼柴垣神事等調査委員会

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
松江・歴史文化まちづくり推進事業			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 「松江・歴史文化まちづくり推進事業」は、住民の発意による魅力と個性ある歴史的なまちなみを形成する提案事業を、行政が積極的に展開・支援していく内容である。これは、松江固有の歴史的風致を市民・行政の一体となった取り組みによって幅広く、総合的に維持・向上していくもので、歴史的風致維持向上施設の整備及び管理とともに松江の歴史的なまちなみの形成を推進するものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

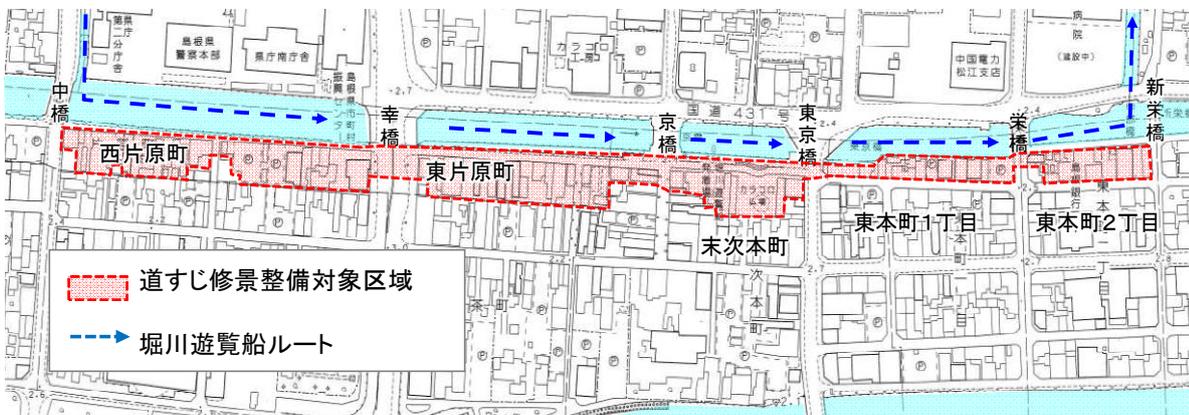
京橋川沿線の5つの町内でそれぞれ歴史まちづくり協定を締結し、建築物や工作物の形態意匠について統一した基準を設けることによって歴史的風情に配慮したまちなみ景観の形成に努めている。また、協定で定めたレベル以上の修景行為に対しては行政が費用を補助する取り組みを行っている。
・令和5年度で京橋川沿線の5つの町内で締結した歴史まちづくり協定期間(10年間)が終了となったが、令和6年度に再度京橋川沿線の5つの町内で10年間の歴史まちづくり協定を締結した。令和6年度の補助実績はなし。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
住民主体の歴史まちづくり事業を実効性の高いものにするために対象地域の住民の理解と協力が必要である。

状況を示す写真や資料等

【京橋川沿線の歴史的なまちなみの統一を目的とした、歴史まちづくり協定】



評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の保存、修理、防災について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	・文化財の継続的な調査に取り組み、松江市文化財保護条例により文化財指定などを行い、その保護を図るとともに、啓発活動、公開促進にも努める。 ・指定文化財については、条例・規則などの法的環境を整えた上で文化庁や県などの関係機関と連携を図り、財政支援(補助金)を行い、適宜専門家の指導を受けながら修理を行っていく。 ・指定文化財(建造物)を中心に文化財防火パトロールを実施し、市職員と消防署職員が所有者宅にて防火点検を行い、不備な点の改善を指導するとともに、地元消防団、自衛団などによる防火訓練を実施している。また、近年、頻発する文化財の盗難についても、所有者に機械警備の設置を指導するとともに文化財所在マップをもとに警察署に巡回を依頼するなど、防犯対策にも努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①【文化財の登録・指定】「手結のスランプ褶曲」及び「大芦のヤマザクラ」を市指定文化財に指定した。 ②【文化財の調査】記録選択無形民俗文化財「蒼柴垣神事」の調査委員会を立ち上げた。 ③【文化財の管理】市有史跡、史跡公園、史跡及び名勝菅田庵の保存管理を行い、法令に基づき民有文化財の保存管理の指導を適時行った。 ④【文化財の整備】市有文化財の整備を実施し、民有文化財の整備の支援を行った。 ⑤【文化財の防災・防犯】1月の「文化財防火デー」に合わせ、国・県指定建造物の設備点検や訓練を行う。国有文化財3ヶ所の見廻り視察を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		・修理又は整備を要する文化財が増加しているため、計画的に事業を実施する必要がある。 ・文化財所有者や市民の文化財愛護に関する意識高揚のため、文化財保護事業について周知するとともに、市内の文化財を活用につなげる必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
【文化財の指定】令和6年8月9日 市指定文化財(天然記念物) 手結のスランプ褶曲		【文化財の指定】令和7年2月10日 市指定文化財(天然記念物) 大芦のヤマザクラ(相生桜、将軍桜、天狗桜)	
			
手結のスランプ褶曲		大芦のヤマザクラ(将軍桜)	
【文化財の整備】R6年度事業一覧			
指定区分	文化財名	事業名	
国宝	松江城天守	防災施設整備事業(R2~6)	
重文	木幡家住宅	保存修理事業(R1~R12)	
重文	木造薬師如来坐像外4軀(佛谷寺)	収蔵施設修理事業(R5~R6)	
史跡	松江城	石垣修理事業(H13~R6)	
史跡	松江城	整備基本計画策定(R6~R7)	
史跡	松江藩主松平家墓所	保存整備事業(H30~R11)	
史跡	田和山・神後田遺跡	史跡公園再整備事業(R1~R9)	
史跡	小泉八雲旧居	保存活用計画策定(R6~R7)	
県指定	雁皮紙	用具修理事業(R4~R6)	
市指定	お成りの間(華蔵寺)	周辺環境整備事業(R6)	

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の活用、普及、啓発について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保護・継承の意識を育てていくために、民間団体・市民と行政が一体となって松江の文化財の普及・啓発に取り組んでいけるような体制を整え、民間団体や市民の活動が継続するよう、側面的支援を行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①地域の歴史と文化に関する市民の理解を深めるため、市内の歴史文化関連施設での企画展示等の催しを開催した。 ②松江の将来を担う子どもたちの郷土に対する愛着心と誇りを高めるため、市内34校の小学校・義務教育学校6年生を対象に松江城及び松江歴史館を見学して、松江城や松江の歴史などについて学ぶ「松江城授業プロジェクト」を実施した。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	より多くの地域住民に参加してもらえるよう積極的なPRに努める。		
状況を示す写真や資料等			

文化財の普及・啓発活動一覧表(令和6年4月～令和7年3月)

開催年月日	事業名	テーマ・講演等	参加者数
1/20～9/27	鹿島歴史民俗資料館 企画展	海上の覇者 奥才古墳群	989
5/25	かしまの歴史・文化を学ぶ会 第1回講座	島根半島沿岸の漁撈用具にみる地域のくらし	28
7/20	かしまの歴史・文化を学ぶ会 第2回講座	魯迅と増田渉—医師にならなかった二人—	30
10/5～1/13	鹿島歴史民俗資料館 特別展	海と湖に生きた人々—登録有形民俗文化財「島根半島沿岸及び宍道湖・中海の漁撈用具」登録記念—	948
10/17～10/18	古代船検討会	出土船材を検討する	14
10/26	かしまの歴史・文化を学ぶ会 第3回講座(特別展開演講演会)	湖海の産業近代化 『松江市史 近現代』の成果を中心に—	22
11/2	鹿島歴史民俗資料館 特別展ギャラリートーク	海と湖に生きた人々—登録有形民俗文化財「島根半島沿岸及び宍道湖・中海の漁撈用具」登録記念—	9
11/18	かしまの歴史・文化を学ぶ会 見学会	堀部1号墳発掘調査見学会	13
12/7	鹿島歴史民俗資料館 特別展ギャラリートーク	海と湖に生きた人々—登録有形民俗文化財「島根半島沿岸及び宍道湖・中海の漁撈用具」登録記念—	8
12/7	南講武草田遺跡検討会	南講武草田遺跡出土遺物の検討	7
1/19～3/30	鹿島歴史民俗資料館 企画展	海上の覇者 奥才古墳群	298
2/1	かしまの歴史・文化を学ぶ会 第4回講座	松江の弥生土器—米作りの伝来と広がり—	26
3/15	かしまの歴史・文化を学ぶ会 総会・講演会	文化財は地域の宝とカ—石見銀山の事例から—	22
4/2～5/12	出雲玉作資料館 企画展	庶民の窯元・舟木窯～生活用品をつくる～	454
4/6	出雲玉作資料館 企画展開連事業	お花見茶会	49
7/20	出雲玉作資料館 郷土史セミナー	島根における民藝のあゆみ	33
10/23～11/24	出雲玉作資料館 企画展	松江藩の焼物～茶道具から雑器まで	528
11/4	出雲玉作資料館 郷土史セミナー	花仙山めうの探検	25
11/9	出雲玉作資料館 企画展開連事業	もみじ茶会～素心流 嘸り茶	13
11/16	出雲玉作資料館 企画展開連事業	ギャラリートーク ～松江藩御用窯における布志名焼の特徴～	23
6/11	松江市市民講座	出雲国分寺と古代の遺跡群	60
6/15	第603回風土記の丘教室	速報！発掘された出雲国分寺瓦窯跡	35
7/7	田和山七夕まつり		
7/11	出前講座(かんなび歴史講座)	竹矢小学校	51
7/30	松江市市民講座	メノウをめぐるヒストリー	60
8/2	出前講座	乃木児童クラブ	24
8/3	八幡鹿島山古墳現地説明会		25
8/3～8/4	田和山史跡公園水郷祭開放	田和山から火花を見よう	700
8/7	鹿島山遺跡発掘体験	竹矢小学校	7
8/24～8/25	田和山夏休み親子教室		24
8/26～9/1	田和山写真展		80
8/27	松江市市民講座	松江の弥生土器～米作りの伝来と広がり～	60
8/31	出雲の大型古墳国史跡指定100周年事業	講演会 出雲国成立と山代・大庭古墳群	140
9/7～9/8	山陰考古学研究会	「出雲の古代寺院」	50
9/8	待月の田和山祭り(講演会)	「田和山遺跡から出雲大社を考える-9本柱の建物跡をめぐって-」	10
9/29	島根の歴史文化講座	東西出雲の王	200
10/5～10/6	出雲の大型古墳国史跡指定100周年事業	古墳一斉公開	1,485
10/13	田和山秋祭り		5
11/3	青谷かみじちフェスタ		130
11/5	松江市市民講座	幻の島根郡新造院平ノ前庵寺の調査から	60
11/30	八幡鹿島山遺跡現地説明会		50
12/8	出雲の大型古墳国史跡指定100周年事業	記念講座 研究史の中の山代・大庭古墳群	74
12/24	松江市市民講座	倭の五王の時代の松江の古墳	46
1/1	田和山初日の出を見る会		70
3/2	田和山ひな祭り		20

鹿島歴史民俗資料館
 出雲玉作資料館
 埋蔵文化財調査課

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
伝統行事等の伝統文化の継承		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致を形成する建造物と一体的に行われている伝統行事、伝統工芸等の伝統文化の継承・育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・鑿行列については、10月19日(土)に国宝松江城大手前駐車場とJR松江駅北口を会場に「宵宮(前夜祭)」を開催予定としていたが、雨天のため中止となった。20日(日)には国宝松江城から白湯天満宮までを会場に「松江祭 鑿行列」を開催した。

【宵宮】

雨天中止

【松江祭 鑿行列】

参加団体:16団体

観覧者:約70,000人

・松江菊花展については、11月2日(土)～11月17日(日)まで、国宝松江城の馬溜広場で開催。

出品数:約500鉢

観客数:約75,000人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	菊花展について、会員の高齢化にともない、出品者が減少しているため、後継者の育成や確保、出品へのPRを広く行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

【松江祭鑿行列】

松江の秋の風物詩「松江祭 鑿行列」を開催した。※宵宮は雨天のため中止

鑿友会による「餅まき」を皮切りに、参加16団体の特色ある法被を身にまとった約1,500人が、国宝松江城の大手前から、市長の掛け声とともにスタートした。白湯天満宮までの約2時間を、力強い鑿と笛やチャンガラの音を響かせながら練り歩き、子どもから大人までが楽しんだ。また、沿道では約70,000人の市民や観光客が、松江の伝統行事である鑿行列を観覧した。



餅まきの様子



本番の様子



【松江菊花展】

松江の秋の風物詩「第74回松江菊花展」を松江城馬溜で開催した。

会場に、愛好者が心を込めて育てた美しい菊花約500鉢を並べることで国宝松江城に秋の彩りを添え、市民や観光客に松江の伝統行事である菊花展を鑑賞していただいた。また、昨年に続き「松江大根島牡丹」とのコラボ展示を開催し、菊花やボタンを通じて松江の魅力を発信した。



コラボの様子



会場の様子



特別花壇の部

評価軸④-4 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和6年度		
項目		現在の状況			
松江歴史館における企画展、各種催しもの等による普及事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手			
計画に記載している内容	松江歴史館では、松江藩に関する美術工芸品や古文書を中心に文化財の展示公開を行っている。基本展示室では「近世松江の歴史」の常設展を、企画展示室では松江らしさをテーマにした展示を行うなど、松江の歴史・文化を幅広く学べる施設として機能を充実させていく。				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で					
令和6年度の基本展示(常設展示)と企画展示・特別展示をあわせて観覧者数は約4万9千人、入館者数は約14万5千人。企画展を2回、特別展を1回、館蔵品展を1回を開催した。企画展等の開催に合わせ、記念講演会や関連イベントを実施した。					
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)				
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	幅広い層の人々が、“城下町松江”の歴史や文化について興味・関心をもち、多くの観光客や市民が来館するよう、展示内容の吟味・工夫を行っていくとともに経費の削減を図る。				
状況を示す写真や資料等					
企画展名	会期	内容	状況写真	観覧者数(人)	
【企画展】 神々の美術—出雲の神像と神宝	R6.4.26～ R6.6.16	出雲の寺社に遺る神像や仏像、神宝などを展示し、出雲の人々の神々に対する思いや信仰について紹介する。		3,663	
【企画展】 松江体育協会設立100周年記念 松江のスポーツ今昔	R6.7.12～ R6.9.16	松江体育協会創立100周年を記念して、「柔道」という名称を日本で初めて使った直信流柔道や近代松江のスポーツについて紹介する。		2,430	
【特別展】 月照寺と松平家の宝	R6.10.4～ R6.11.24	月照寺開基360周年を記念し、松江松平家の歴代藩主が眠る墓所である月照寺の様相や、宝物の数々を紹介する。		6,257	
【館蔵品展】 松江藩を支えた家老 大橋茂右衛門	R7.1.24～ R7.3.30	大橋家旧蔵資料などを通じ、筆頭家老として松江藩を支えた大橋茂右衛門を紹介する。		3,833	
催事名(主なものを抜粋)	開催日(期間)	内容	状況写真	参加者数(人)	
◆会議	松江歴史館運営協議会	R6.11.18	委員と運営等について意見交換		委員8
	松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会	R7.2.5	委員と運営等について意見交換		委員8
◆展示 ※企画展を除く	ミニ展示・スポット展示	随時入替 ミニ展示:6回 スポット展示:6回	館蔵品を中心に様々なテーマで展示 ミニ展示:「秋鹿の葺師—屋根職人の道具—」ほか スポット展示:「平塚運一のスケッチ」ほか		—
◆講演会等	リレー講座(全5回)	R6.4.2～ R6.6.8	企画展「神々の美術—出雲の神像と神宝」記念学芸員リレー講座(全5回)		144
	記念講演会「松江藩武術の復活」	R6.8.4	企画展「松江のスポーツ今昔」記念講演会		36
	記念講演会「松平不味の茶道具収集～雲州蔵帳について～」	R6.10.14	特別展「月照寺と松平家の宝」記念講演会		51
	記念講演会「筆頭家老 大橋家の人々」	R7.3.1	館蔵品展「大橋茂右衛門」記念講演会		67
◆学習会	名誉館長講座	月1回	「出雲学談義」		60 ※登録者数
	松江おもしろ談義 —歴史をたずねる・美術にしたしむ—	月1回	学芸員等による松江の歴史と美術に関する講座		386
◆体験教室	各種季節行事体験	随時	篆刻教室、書き初め ほか		—
◆その他	観光客向け催事	随時	松江城鉄砲隊演武 ほか		—

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和6年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
美保関の文化価値解説 重伝建選定へ調査報告	2024/2/5	山陰中央新報	
松江城正保年間絵図を答申	2024/2/6	山陰中央新報	
木幡家住宅の内部公開	2024/3/21	山陰中央新報	
厳かに青柴垣神事 美保関	2024/4/8	山陰中央新報	
美保関水族館の歴史学ぶ 松江で跡地巡るガイドツアー	2024/5/2	山陰中央新報	
住民参加で文化財守る	2024/5/9	日本経済新聞	
和菓子作り 甘いひととき	2024/5/20	読売新聞	
伝統の大太鼓「髷」体験	2024/5/21	読売新聞	
小説セツ、来秋朝ドラに 松江が主舞台「ばけばけ」	2024/6/13	山陰中央新報	
松江城の調査研究資料を再編 国宝10年と5城、世界遺産へ	2024/7/1	山陰中央新報	
モダニズム建築に目を(スタンプラリー始まる)	2024/7/25	山陰中央新報	
1600万年前地層 市文化財へ 松江・手結のスランプ褶曲	2024/7/31	山陰中央新報	
松江市が知事公舎活用	2024/8/1	山陰中央新報	
松江城の輝き いつまでも 国宝5城で同時床磨き	2024/8/18	山陰中央新報	
松江・山代二子塚古墳を解説	2024/9/1	山陰中央新報	
松江城古材の墨書き展示	2024/9/11	読売新聞	
カラコロ工房 リニューアル	2024/10/2	山陰中央新報	
藩窯消長の歴史をたどる(出雲玉作資料館 秋季企画展)	2024/10/3	山陰中央新報	
月照寺開基360周年記念の特別展	2024/10/18	朝日新聞	
埴輪に船とみられる模様(松江・八幡鹿島山古墳)	2024/10/23	山陰中央新報	
松江城大茶会、26日開幕	2024/10/25	山陰中央新報	
松江城で天守国宝10周年の記念公演	2024/11/1	共同通信社	
松江市が空き家対策強化	2024/11/6	山陰中央新報	
明治-昭和の漁具展示 松江・鹿島	2024/11/8	山陰中央新報	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

来年度は、松江城天守国宝指定 10 周年を迎えるほか、小泉八雲の妻「小泉セツ」をモデルとした物語「ばけばけ」がNHKの連続テレビ小説で放送する予定となっている。それに関連した報道や機運を高めるような各種イベント開催などが徐々に見られるようになった。これを機に国宝松江城天守や国指定の史跡・小泉八雲旧居の活用を官民が連携して進めていきたい。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

現地およびウェブ上での広報を引き続き実施していく。
 地元の良さを地元の人が理解しPRできるよう、仕掛け作りをしていく。

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和6年度

項目

計画に位置付けた事業の完了数

計画に記載している内容 文化財や歴史的建造物を保存・活用するとともに、周辺環境整備や伝統行事等の伝統文化の継承・育成を図っていく。歴史的風致維持向上施設の整備・管理については、周辺の歴史的なまちなみや文化財、さらに地域における活動と一体となった施設の整備を進め、適切な維持管理を行っていくものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

第2期計画に掲載した40事業のうち、令和5年度までに17事業が完了した。
それに加え、令和6年度には新たに4事業が適正に実施され、完了した。
松江の文化力体験推進事業は、事業期間が令和6年度までとなっているが、令和7年度以降の継続実施について現在検討している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

引き続き、庁内や各関係機関との連携を図りながら松江市の歴史まちづくりの輪が広がるよう、国、県および法定協議会委員の指導の下、協力して事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等

令和6年度実施完了事業

・国宝松江城天守防災施設等整備事業



・重要文化財木造薬師如来坐像ほか4躯保存活用施設整備事業



・佐陀神能用具等修理・新調事業



・カラコロ工房整備事業



令和7年度以降継続実施検討事業

・松江の文化力体験推進事業



令和5年度までの完了事業一覧

- ① 国宝松江城天守耐震対策事業
- ② 千鳥橋改架事業
- ③ 市指定文化財(建造物)親月庵及び待合保存修理事業
- ④ 史跡小泉八雲旧居土塀修理事業
- ⑤ 重要文化財木幡家住宅新蔵ほか3棟保存修理事業
- ⑥ 佐陀神能舞殿保存修理事業
- ⑦ 北惣門橋改架事業
- ⑧ 市指定文化財(建造物)田原神社随神門保存修理事業
- ⑨ 重要文化財佐太神社防災施設整備事業
- ⑩ 県指定文化財明々庵茅葺き補修工事事業
- ⑪ 重要文化財木幡家住宅新蔵ほか2棟防災施設整備事業
- ⑫ 国宝神魂神社本殿防災施設整備事業
- ⑬ 県指定文化財真名井神社本殿保存修理事業
- ⑭ 県指定文化財真名井神社本殿防災施設整備事業
- ⑮ 出雲国分寺跡国史跡指定100周年記念事業
- ⑯ 青柴垣神事 地域の伝統行事等のための伝承事業
- ⑰ 松江のホーランエンヤ 地域の伝統行事等のための伝承事業

評価対象年度	令和6年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和6年度 第1回 松江市歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時: (第1回) 令和7年2月5日	
<p>〈第1回〉 (主なコメントの概要)</p> <p>①「まちあるき案内板の設置事業」について、未設置の地区も案内板の設置をしてもらいたい。 ②西川津町市成から西尾町に行く境目にスランプ褶曲による地層の逆転が見られる場所があるため、今一度調査ができる といいなと思った。 ③整行列などの担い手が減少していくようであれば、外部から参加者を受け入れるような別の視点で継続を検討していく必 要があるのではないかと。 ④まち歩きマップについて、今後新たな発見やまちなみの変化があれば、追加・修正をしてほしい。 ⑤文化財の保存・活用について、3Dデータや動画を活用し、できるだけデジタル化をしていただきたい。 ⑥寺町の整庫の音声ガイドについて、全く映像が見えない状態になっており、更新してもらえると嬉しい。 ⑦整庫について、中が見れるようにしてほしい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>①未設置地区の関係者の方と協議をしながら進めて参ります。 ②詳しい場所などを教えていただき、現地の確認をさせていただきたいと思っております。 ③各団体において、それまで町内で完結していた活動を続けていくことが難しいということであれば、外部から参加者を募り、 担い手を確保する動きも徐々に出てきているところでございます。 ④各公民館と協力しながら最新の情報になるよう、更新を考えていきたいと思っております。 ⑤各課が持っている文化財のデジタル情報を一元的に検索できるような形にしたいと考えております。現在は、まずそれぞ れの情報をデジタル化する作業を進めておりまして、それが一通りできると、それぞれのデータをリンクさせて、一体的な 横断検索ができるようなサイトを立ち上げようと思っております。 ⑥映像を早急に確認させていただきまして、対処して参りたいと思っております。 ⑦各地区がお持ちの整庫は、ご事情もあって難しいかと思っておりますが、整を叩くということであれば、松江歴史館のところ で可能となっておりますので、ご紹介をさせていただきます。</p>	